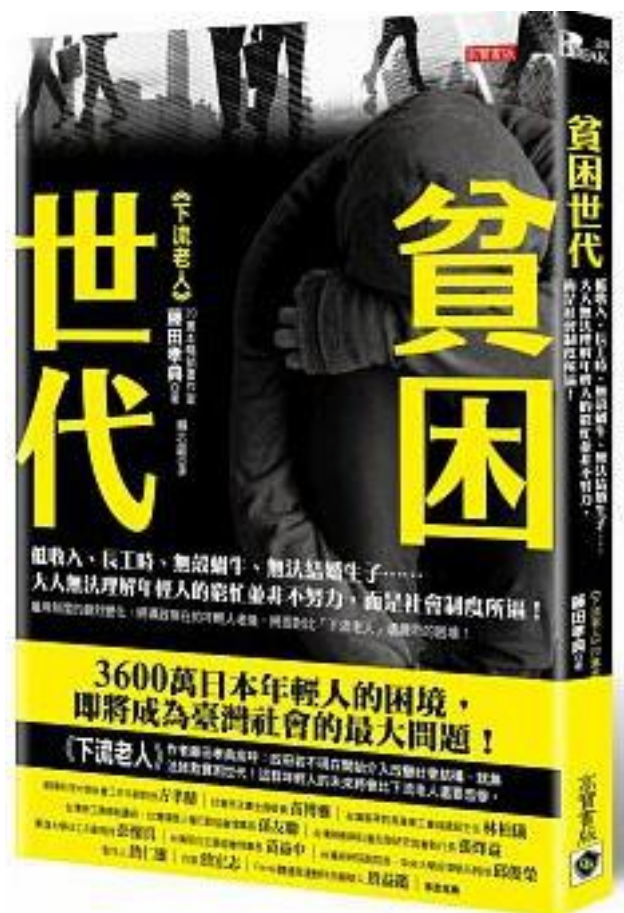


貧困世代



[貧困世代_下载链接1](#)

著者:藤田孝典

出版者:講談社現代新書

出版时间:2016-3-16

装帧:平装

isbn:9784062883580

「貧困世代(プア・ジェネレーション)」は下流老人よりも悲惨だ!

「現在の若者たちはもはや、ロスト・ジェネレーションのような一時的な就職難や一過性の困難に置かれているのではない。雇用環境の激変を一因とする、一生涯の貧困

が宿命づけられている。

若者たちは何らかの政策や支援環境の再編がない限り、ワーキングプアから抜け出せないことも増えてきている。

ここでわたしは、現代の若者たちは一過性の困難に直面しているばかりではなく、その後も続く生活の様々な困難さや貧困を抱え続けてしまっている世代であると指摘したい。彼らは自力ではもはや避けようがない、日本社会から強いられた貧困に直面している。日本史上でも類を見ない、特異な世代である。

だからこそわたしは、彼らの世代を、『貧困世代(プア・ジェネレーション)』と総称することにした(「はじめに」より)

大多数の若者たちは、現代日本の社会構造のおかげで、夢や希望を叶える活力を持ちながらも、それを生かせずにもがいている。しかも悪いことに、若者たちは支援が必要な存在だと認識されておらず、社会福祉の対象としては扱われてこなかった。

貧困世代約3600万人はまるで、日本社会がつくった監獄に閉じ込められている囚人のようである。

若者は働けば収入を得られる、若者は家族が助けてくれる、若者は元気で健康である、昔の若者のほうが大変だった、若者の苦労は一時的なものだ……こうした「大人の言説」はすべて間違っている。

本書では、所持金13円で野宿していた栄養失調状態の20代男性、生活保護を受けながら生きる30代女性、ブラック企業でうつ病を患った20代男性、脱法ハウスで暮らさざるを得ない20代男性の事例などの、筆者自らが聞き取った体験談を分析し、いかに若者が社会からこき使われ、疲れ果て、貧困に至っているのかを書き尽くす。

貧困世代のつらさを全国民が深く理解し、いびつな社会構造を変えなければ、下流老人も含めた日本固有の貧困問題は絶対に解決しない。

作者紹介:

藤田 孝典

1982年生まれ。埼玉県在住の社会福祉士。ルーテル学院大学大学院総合人間学研究科博士前期課程修了。NPO法人ほっとプラス代表理事。聖学院大学客員准教授(公的扶助論、相談援助技術論など)。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表。厚生労働省社会保障審議会特別部会委員(2013年度)。著書に、『ひとりも殺させない』(堀之内出版)、『下流老人 一億総老後崩壊の衝撃』(朝日新聞出版)などがある。

2015年6月に出版された朝日新書『下流老人』は20万部を突破するベストセラーとなり、「下流老人」は同年のユーキャン新語・流行語大賞のノミネート50語に選ばれた。

目録: はじめに

第1章 社会から傷つけられている若者=弱者(じゃくしゃ)

第2章 大人が貧困をわからない悲劇

第3章 学べない悲劇——ブラックバイトと奨学金問題

第4章 住めない悲劇——貧困世代の抱える住宅問題

第5章 社会構造を変えなければ、貧困世代は決して救われない
おわりに

..... ([收起](#))

[貧困世代_下载链接1](#)

标签

社会学

日本

贫困

社会问题

选题

评论

[貧困世代_下载链接1](#)

书评

[貧困世代_下载链接1](#)